

夏休みを利用して毎年県外へ武者修業に出かけている神戸FCボーイズ(小学生)、ジュニア(中学生)は今年も各地へ合宿や交歓大会に足をのぼし、大いに成果を上げた。

第4回全国選抜少年団大町大会
長野県国体の前年より国体リハーサル大会として始められた全国選抜少年サッカー大町大会は、地元関係者の「大町をサッカーの町に」と願う熱意にささえられ、着実に成果を上げている。今年は第4回目を迎え、8月6、7日の両日行われ、初回から合宿を兼ねて参加している神戸FCジュニアAは昨年に引き続き二連勝を果たした。
大町は黒部、立山アルペンルートの長野県側の入口として有名。やまびこ国体を機に新設されたサッカー専用球技場と陸上競技場は残雪をいただいた鹿島槍をはじめ3000メートル級の山なみを背景にどちらもすばらしい芝生が整備され、環境は抜群。冷夏でなくとも涼しい大町は大変しのぎやすく8月4日から合宿に入っていた神戸FCは大会前日に黒部ダムを勇壮な景観を楽しみ、地元大町高校とのテストマッチでも4-2と勝ってベストコ

地方大会で大活躍

神戸FC [ジュニアA (大町) / ボーイズA (津山)]

ンディション。準決勝では静岡城南FCに苦戦ながら2-1で1回戦東京町田小山に4-2で勝ち辛勝。決勝は大町第1中を4-0で下し、二連破を果たした。
なお、このお返しとして冬は雪多い大町の少年チームをウィンターフェスティバルで神戸に招待している。(加藤)
第13回津山ジュニアフェスティバル
第13回津山ジュニアフェスティバルは西日本各地から20チームが参加し、8月15日から17日まで津山市中央公園で熱戦がくりひろげられた。神戸市からは神戸FCボーイズと千歳少年団が参加。神戸FCボーイズが見事4度目の優勝(2年ぶり)に輝いたが千歳は惜しくもグループ予選で敗退した。
13年の歴史をもつこの大会は近県サッカー交歓会という名で親まれていたが今年から大会名を変えた。発端は神戸SSの加藤正信氏のアイデアで津山SSの竹内恒彦氏と島根SSの児玉耕平氏の協力のもと山陰地方と岡山県北のサッカー普及ということで始まった。開催地は津山、勝山、米子、鳥取、大社と場所をかえて効果をあげてきたが、4年前から津山市に固定されている。初期の目的は関係者の努力で実を結びつつある。昨年度高校選手権で大活躍した米子東高はこの大会の経験者がほとんどである。兵庫が火をつけ岡山、鳥取、島根で始まったこの大会に広島、大阪香川、山口が加わり、さらに今年は京都、愛媛、福岡が初参加し、ぐっと広範囲にわたり大会の充実ぶりは目をみはるものがある。
記録(関係分)
予選Eグループ Bグループ
KFC15-0皆実(広島) 千歳0-1木太(香川)
KFC8-0米子(鳥取) 千歳0-2若松(福岡)
KFC5-3岡山県北 千歳1-6紫光(京都)
▽準々決勝 KFC3-0木太(香川)
▽準決勝 KFC2-0交野(大阪)
▽決勝 KFC5-4赤大路(大阪)

社会人リーグ日程

兵庫教員・三菱神戸がんばれ

9月20日	服部競技場
11時	三菱神戸 VS 大日本電線
13時	兵庫教員 VS 湯浅電池
15時	紫光クラブ VS 大阪ガス
9月23日	服部競技場
13時	電々近畿 VS 大阪教員
15時	三菱自工京都 VS 新日鉄広畑
9月27日	万国博球技場
12時	大阪ガス VS 大日本電線
14時	湯浅電池 VS 三菱自工京都
9月28日	神戸中央球技場
14時	新日鉄広畑 VS 三菱神戸
	電々近畿総合運動場(淀)
12時	大阪教員 VS 兵庫教員
14時	電々近畿 VS 紫光クラブ

JFAリーダー養成講習会開催案内

55年度兵庫県サッカー協会指導者養成講習会(JFAリーダー資格修得)は来る11月15日より下記要項にて実施されます。
参加を希望される人は要項をご覧の上参加申込みの手續を期限までに完了されるようお願いします。
□講師 兵庫県協会技術委員
□期日 11月15日(土)、16日(日)、22日(土)、23日(日)、24日(振替休日)、29日(土)、30日(日)、12月6日(土)、7日(日)
土曜日はPM2:00~PM8:00
日曜日はAM9:00~PM6:00
□内容 1実技 ○技術(4) ○戦術(4) ○体力(2)
2指導実習 ○少年(2) ○青年(2)
3講義 ○競技規則(1) ○指導法(1)
○サッカー理論(3)
○体育理論(3)
○スポーツ医学(2)
4テスト
□場所 神戸中央球技場
三木記念 神戸市立スポーツ会館(磯上グラウンド)、御影工業高校神戸大学教養部
□参加資格 21才以上でサッカー指導を現在行っている人、又は近い将来行なう予定(大学4年生で来年度教職につく)の人、で各都市、支部協会より推薦された人(各支部2名程度)又は、県協会技術委員会が適当と認めた人。期間中継続して講習に参加できる人。
□定員 30名程度
参加料 ¥2,000
JFAリーダーに合格した場合は認定料1,000円が必要。
□申込先・問合せ 兵庫県サッカー協会
神戸市葺合区八幡通2丁目1-10
三木記念 神戸市立スポーツ会館
TEL 078-232-4647・0753

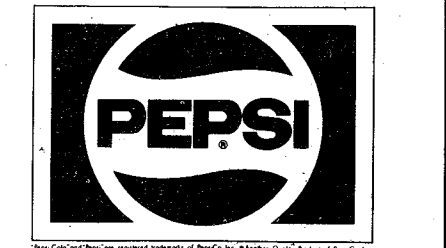
クライフ・ヤンセンがやってくる

ゼロックス・スーパーサッカー

とき 11月14日(金) 午後6時30分
場所 神戸中央球技場
試合チーム ワシントンディプロマツ VS ヤンマー
入場券 S券 3,000円(前売・当日共)
A券 1,500円(前売)
2,000円(当日)
B券 バックスタンド立見席
大人 800円(前売)
1,000円(当日)
高校生 500円(前売)
前売券発売日 10月1日発売
プレイガイド 神戸新聞会館プレイガイド・サンチカ・インフォメーション・阪神交通社プレイガイド・阪急交通社プレイガイド
スポーツ店 サッカーショップオウビ・サッカーショップ加茂・ヤノ運動具店・シマスポーツ(京都市北区)ミカドスポーツ(大阪市北区梅田)
その他関西・兵庫サッカー協会

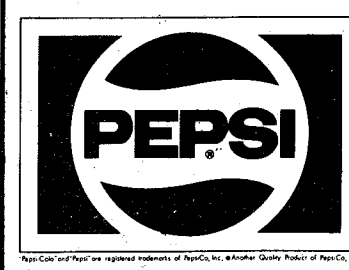
関正スポーツ
東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m
灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側
塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
パンドウ化学南
MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新聞地店 ☎078(575)7688
ワールドスポーツ
東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側西側

オウビ
葺合区琴緒町4丁目7 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理学院専門学校斜め前(田上ビル1階)
スメラ
湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470
加茂トアロード店
生田区三宮町3-2 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m
スポーツワールド33
生田区三宮町2丁目1 ☎078(332)7332
マヤスポーツハウス
灘区森後町1丁目4-6 ☎078(841)8811
国鉄六甲駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側



弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒657 神戸市葺合区八幡通2-5磯上公園 神戸市サッカー協会 078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

個人購読のご案内



神戸のサッカー

全日本少年サッカー大会

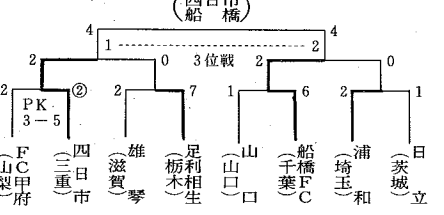
はつらつプレーに賞賛 無念 神戸FCボーイズ8強ならず

第四回全日本少年大会は7月28日から8月2日まで東京よみうりランドに全国から48チームが集い、日本一めざし熱戦が展開され、決勝は選抜チーム同志の四日市と船橋が対戦し、両者ゆずらず優勝を分けあった。兵庫県代表として初出場した神戸FCボーイズも6日間元気にプレーした。この大会は勝利を競うだけでなく生活指導にも重点がおかれ朝6時起床から夜9時就寝まで「自分のことは自分でする」をモットーに規律ある生活だった。
7月28日の開会式は真新しい人工芝に各チームのカラーが映え堂々の行進はひとときあざやかだった。注目の抽選会で神戸FCは昨年優勝したFC甲府の1組に属した。
7月29日から予選リーグが始まり、第一戦は楠橋(福岡)を2-0で破り順調なスタートをきったが、第二戦柳町(富山)に押しっぱなしながら引きわけたのが痛い。30日第三戦は室蘭天沢(南北海道)を3-0、第四戦金石(岩手)を2-0で下し、3勝1分け。予選最終日同じく3勝1分けのFC甲府とベスト8をかけて戦ったが、パワーあふれる走力とシュート力のまにに先取点を奪いながら1-4で敗れた。念願のベスト8進出はならなかったが技術を前面におしだし、少年らしいのびのびと、またははつらつとしたKFCのプレーぶりは賞賛をあげた。県下102チームの代表として充分の力を発揮できたと満足している。今回偶然にも北海道、岩手の代表と初めてプレーできたがそれらのチームの質の向上は著しくとても素晴らしい試合ではなかった。個人技養成にミニサッカーをフルに利用していることは参考になる。
今回も選抜FCチームが上位を占めたが走力、キック、ボールコントロールに秀でた者を集めれば当然といえるが、ゴールの大き



神戸対楠橋戦 左ウイング金が突進する。

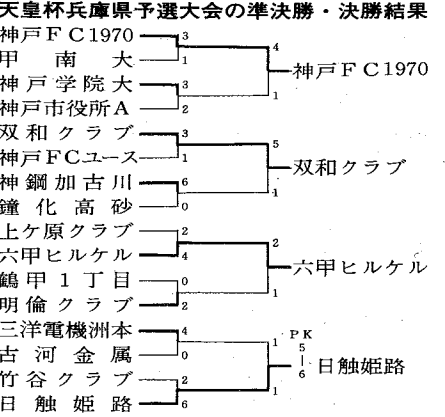
いのを利用してロングシュートで点をねらう戦法がやけにめだった第4回大会だった。
6日間を通じての自主的な生活の訓練と研修、そして楽しかったキャンプファイヤーなど思い出はつきず、今後のサッカー人生に大きなかたになるだろう。(黒田)
〈決勝トーナメント〉
(四日市)
(船橋)



1組	FC甲府	柳町	神戸FC	楠橋	金石	室蘭天沢	得失点差	順位
甲府		0-3	0-1	2-2	0-0	3-0	+13	1
柳町			1-1	2-0	4-2	5-1	+5	2
神戸FC				0-2	2-0	3-0	+4	3
楠橋					0-2	1-0	-1	4
金石						0-2	-6	5
室蘭天沢							-15	6

神戸FC 1970他4代表決定 ~ 第60回天皇杯兵庫県大会 ~

第60回天皇杯昭和55年度全日本選手権大会兵庫県予選大会は、社会人リーグ、学生リーグなどから84チームが参加して争われたが、チームワーク、実力に勝る神戸FC1970、双和クラブ、六甲ヒルケル、日触姫路の4チームが関西大会へ出場することになった。学生リーグからの出場がなかったことは何か寂しい。これら4チームは関西社会人リーグの兵庫教員団、新日鉄広畑、三菱神戸、関西学生リーグ部の関学と共に日本リーグ2部チームの中に混って関西の4強へ戦いを挑むことになる。
天皇杯関西大会は10月25日から万博、服部などのグラウンドが始まるが、11月16日には神戸中央球技場で中央大会の出場権をかけた2試合が行われる。是非とも兵庫県からのチームが対戦するよう期待したいものだ。



より良いサッカーを
市少年指導者講習会後期
昭和55年度少年サッカー指導者講習会は前期43人の参加者を迎え大好評だったが、引き続き後期は下記日程で行われる。よりよいサッカーをめざし努力する受講者たちのがんばりに期待したい。
〔日程〕
9月17日(水)、23日(水)、30日(火)……磯上球技場。10月7日(火)、14日(火)、21日(火)……御影工高。時間はすべて18時30分から。
〔講師〕
一北四郎 黒田和生 森田哲也 関根 繁 加藤 寛 岡 俊彦(県協会リーダー)
日本協会 公認コーチ

全国高校総合体育大会

御影工高
打倒帝京成らず

全国高校総体サッカー競技は8月2日より愛媛県松山市で全国から51チームが参加して行われ、静岡代表の清水東が栃木代表今市を2-1で下して優勝した。

兵庫代表の御影工は2回戦で沖縄代表西原を5-1で破り、3回戦優勝候補の一つに上げられていた東京の帝京と対戦した。試合は昨夜来のはげしい雨にグラウンドコンディションは最悪、水びたしのグラウンドで激しい攻防がくりかえされたが、前半0-0、後半に入って、帝京は一点をねらって全員攻撃、御影工は守

勢になりピンチの連続をゴールキーパー兼本の再三の美技でこれをしのいだが、あと3分で後半終了と言うところで、一点をうばわれ、打倒帝京の夢を破られ、今年も準々決勝進出をはばまれた。

今大会は大会前の予想では関東勢が圧倒的に評判が高く浦和南、帝京、今市、それに東海の清水東が優勝候補に上っていた。浦和南は優勝候補No.1に上っていたが、愛知の岡崎城西に0-3と完敗3回戦で姿を消した。

清水東は各試合をコンスタントに力を発揮し、順当に決勝に進出した。

今市は準々決勝で帝京に3-1と逆転勝ち準決勝は伏兵島根の松江南を4-0と破って決勝へ進出した。今市はこの秋の栃木国体

神戸FCユース3位

全国クラブユース選手権大会

昭和55年度全国クラブユース選手権大会は7月24日から4日間、東京よみうりランドサッカー場で全国から高校生年齢の八つのクラブチームが参加して行われた。優勝を目標に大会に臨んだ神戸FCユースは予選リーグ1・2戦に快勝し、第3戦で読売クラブと決勝進出をかけて戦い、圧倒的にゲームを支配しながら不運にも1-2で破れた。三位決定戦では愛知FCを2-0で下し入賞を果たして帰郷した。なお、決勝は三菱養和クラブと読売クラブの間で戦われ、80分を戦って1-1のタイ。大会規程に従ってサドンデス（どちらか一方が得点した時点で終了）の延長戦に入ったが、双方得点なく、結局90分を戦ったところで両者一位となった。

クラブユース大会は年々レベルが向上し、「参加チームは少ないが、トップ4チームがぶつかり合うゲームは技術、体力、戦力ともこの年齢ではまちがいに国内のトップレベルのゲーム」とは、あるサッカー専門誌の記者。現在日本協会で話し合われているが早く高校生年齢の真の選手権大会が実現されることを切に願うものである。

予選リーグ成績（関係分）
▷第一戦（7月24日）

神戸FCユース 11-0 藤岡（栃木）
▷第2戦（7月25日）
神戸FCユース 5-0 横浜トライスター（神奈川）
▷第3戦（7月26日）
神戸FCユース 1-2 読売クラブ
▷三位決定戦（7月27日）
神戸FCユース 2-0 愛知FC



ハーフ青木がドリブルで攻め上げる
白沢（右）佐藤（左）がフォロースタ
対愛知FC戦より

関西予選初の失格 …国体少年の部…

国体関西予選少年の部は8月21日から23日の3日間、万博グラウンドにおいて近畿6県の代表が集って行われた。

兵庫代表は、22日に奈良と対戦し、前半は優勢に試合を進めながら得点を上げられず後半は逆襲から先制点をうばわれて苦境に立ち、ずるずると奈良のペースにおちいって、0-2と敗退した。

23日は最終戦で京都と対戦。これに破れると代表権を失うだけに両チームとも背水の陣。選手もコーチも必勝の構えでグラウンドにやって来た。しかし当日は朝からのどしゃ降りやグラウンドコンディションは最悪の状態であり、パワーにまさる京都に押し込まれる場面が多く、前半4分京都にロングシュートを決められて又も相手に先行される。さらにもう一点を加えられて0-2で前半を終り、後半も15分頃までは完全に京都ペース、ようやく兵庫が反撃に出て再三京都ゴールをおびやかすも得点を上げることができず、タイム

アップのホイッスルが無情に鳴ってしまった。兵庫代表選抜チームとしては、国体サッカー少年の部が選抜方式になって以来初めて関西代表権を失う屈辱をなめることになった。今回初めて予選失格となった原因については監督、コーチを始め関係者で充分反省し、来年以降の対策を立ててもらいたいと考える。

しかし、今回兵庫代表選抜チームに選抜されたこの夏休みに返上して練習会に参加し、高い個人負担をしてまで静岡遠征に参加した選手諸君の悲しい気持ちを想うと不憫である。

兵庫県の高校サッカーは今年3月の近畿大会での完敗に続いて今回の予選失格と不名誉な結果を反省し兵庫サッカーの再興のため一致団結して進まなければならない。

今回の指導者の責任問題を問う以前に今日の兵庫県の高校サッカー全体の問題を根底から検討する必要があるのではなかろうか。

（一北四郎）

国体成年男子
全国へGO!

第35回国民体育大会に久々に出場することになった一般の部のメンバーが決定した。少年の部は予選で敗退し兵庫県兵庫のプレーを全国民に披露することができなくなった。少年も一般も共に出場してほしかった。

一般（成年男子）の出場メンバーは次のとおりです。本番では兵庫県の名に恥じない素晴らしいプレーを期待しています。

【監督】 岡村敬（三菱神戸）
【GK】 松岡泰典（三菱神戸） 福山嘉夫（鷹取中）

【FB】 西田正雄（大日本電線）市川雄一（六甲高）八木重光（塩原女子高）桑田瑞夫（三菱神戸）庄田満（三菱神戸）

【HB】 菊岡良之（サッカー協会）前田正司（三菱神戸）水野修（神吉中）岡中正安（三菱神戸）

【FW】 山田仁彦（東灘高）関根繁（長田高）北川雅史（大日本電線）大野真一（神戸市役所）

漢のバスを井若がゴール
対西原戦より

を目標に3年計画で強化されたチームだけに今大会でも素晴らしいプレーを見せ、ユース代表の湯田を中心に、ボールコントロールもコンビネーションプレーも実によく鍛えられたチームに成長していた。

決勝は清水東の伝統の力、勝沢監督の指導力が物を言って、これまでの清水のサッカーから一歩進んだ力のサッカーを展開して今市を下して2度目の全国優勝を飾った。

今大会全般を見て感じたことは、関東優位の傾向はまだ打消すことは出来ないがその差はちぢまっている。特にベスト4に松江南が進出したことは、組合せにめぐまれたとは言え立派であり、個々に素晴らしい能力を打つ選手が見られた。

御影工の戦いぶりでは、2回戦の西原戦は立上りに不運なロビングがそのままゴールに入り先制されたが、すぐに井若が同点シュートを決め、続いて井若のシュートを相手G.K.がはじくところを祖母井がフォローして逆転その後も、八木がクリーンシュートを決めて前半3-1、後半も三好、祖母井が決めて相手を圧倒、5-1の完勝。全国大会レベルでも充分通用する、技術と戦術を持っていると思える。しかし、次の帝京戦、雨の中で、悪コンディションの中では体力不足が目立ち帝京の力強い攻撃に防戦一方になったのが今後の課題と言える。

（一北四郎）

ワールドユース
元全日本監督

松本育夫氏の目光る

関西トレーニングセンター盛況

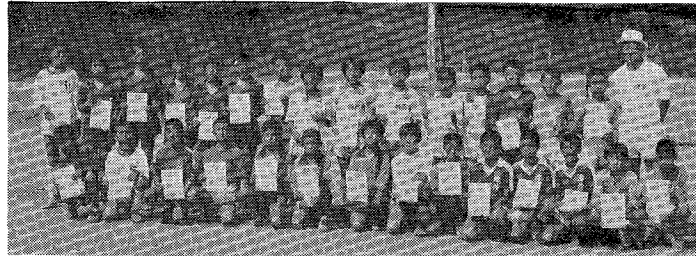
日本協会が提案し、今年からスタートした地域トレーニングセンターの関西での催しが8月21日、22日の両日、万博公園球技場とその近くの吹田東高、吹田市立千里丘中学の会場にて高校1、2年の部、中学生の部、小学生の部の3部門にわたって近畿6府県（小・中学生の部は一部不参加もあり）から集まって対抗試合形式で研修を行った。日本協会から昨年のワールドユース大会の日本代表チームの監督の松本育夫氏が参加して助言や優秀選手のチェックをした。

兵庫県からは高校生、中学生、小学生の3部門に40人の選手と指導者4人が参加した。高校の部は21日に和歌山と対戦し、1-0で勝ち、続いて京都と対戦、0-1と破れた。中学生の部は21日に奈良に勝ったものの京都に破れた。22日は大阪と対戦し勝った。小学生の部は大阪、滋賀、和歌山と対戦し、3戦全勝と3部門とも素晴らしい成績を上げ個人的にもレベルの高い選手が兵庫に多いとの評価を受けた。

今後、中・高校生については兵庫県トレーニングセンターとして毎月2回以上の講習会や研修を重ねて多くの優秀選手を育てるために努力したい。

また、中学3年生と高校生の中からは関西で10数人を選抜し、11月20日から24日まで、9地域選抜対抗戦に参加することが決まっている。中学1、2年生については関西で15人を選抜して、来年3月の全国中学生選抜大会に22日は滋賀と対戦し5-0と完勝した。

県下選抜二〇〇人参加
楽しかった
技術講習会



兵庫県少年サッカー技術講習会は7月26日、27日の両日、竜野市の赤とんぼ荘と竜野高校グラウンドで行われた。県下各地区で選抜された少年達約200人が集り、日本協会技術委員会少年育成部の黒田和生氏を講師として試合や技術指導に汗を流した。

26日は雨の中で泥んこになりながら対抗試合をやり、夜にはベレの基礎技術のフィルムを見たり、兵庫協会技術委員一北四郎氏の「サッカー選手としての心構え」の話しを聞いた後、部屋で仲間と楽しい時間を持つなど有意義に過ごした。

27日は朝から快晴となり午前中、基礎技術と体力トレーニングの指導を受けた後、対抗試合と優秀選手の紅白試合を実施した。優秀選手で編成された両チームは即席チームながら素晴らしいゲームを展開し、淡路勢を中心としたグループが竜野・高丘を主としたグループに対し健闘し勝利を収めた。

閉講式では全員に修了証が渡され、優秀選手の発表もあった。参加した少年達はそれぞれ今後に大きな希望をいだいて、自分のチームに戻って行った。

公認審判員48人が誕生
市内中学生が活躍

第3回中学生公認審判員養成研修会は、神戸市サッカー協会第3種委員会審判部（部長村上恒雄）で夏休みを利用して開かれ、めでたく46人の中学生公認審判員が誕生した。

中学生公認審判員制度とは、神戸市中学生サッカー大会に参加しようとするクラブが、同大会の運営を円滑にするとともに、リーダの養成と資質を高めるため、2名以上の公認審判員を登録する趣旨である。審判員は、毎年7月下旬から8月中旬に行

出場することになった。今後こうにして優秀選手に良い環境とチャンスを与えるための企画が準備されているので、今回チャンスを逃した諸君も今後のチャンスをつかため努力をしてほしい。

（一北四郎）

関西トレーニングセンター兵庫代表
〔小学生の部〕6年生13人

跡上浩文、嶋田竜也、名村強、安田憲弘（以上揖保）石崎誠二、松下修也、柳生雅伸（以上高兵西）本街直樹、山中英男（神戸FC）土橋章二（西淡路）道上明治（西淡津井）船積良太（ひよどり台）井上佳彦（中町）

指導者 吉井信義（揖保）松岡隆男（高兵西）
〔中学生の部〕14人

沖原正和、三枚直喜、奥井善久（以上瓦木中3）溝畑哲朗、井上幾久雄、辻勝憲、田坂充（以上神戸FC中3）跡上良二（竜野西中3）井上佳博、瀬戸隆生（以上竜野西中2）西中充治（御原中2）山中剛一（神戸FC中2）土橋一雅（御原中1）大橋賢二（神戸FC中1）指導者大西川洋一（本山中）

〔高校生の部〕13人

田中誠人、吉田龍一（御影工高2）古谷大治（小野高2）青木幸二（神戸FC高2）、小林公平（市西宮高1）中田篤志（尾崎小田高1）小丸俊哉（三原高1）和田昌裕（御影高1）塩田芳丸（須磨高1）永島昭浩（御影工高1）井上教文、山下晴彦、白沢久則（神戸FC高1）指導者、関根繁（長田高）、一北四郎（御影工高）

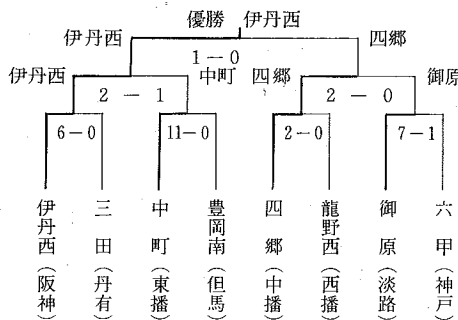
伊丹西中初優勝

兵庫県中学選手権

昭和55年度兵庫県中学校サッカー選手権大会は県下8ブロックの代表が参加して行われた。神戸からは六甲中学校が出場したが、1回戦で淡路代表の御原中学と対戦し1-7と大敗を喫した。

決勝は阪神代表の伊丹西中学が中播代表の四郷中学を後半11分池田からのパスを受けた滝本が決勝シュートを決め、1-0で逃げ初優勝を飾った。四郷中学は一戦一戦チーム力を向上させてきたが実力に優る伊丹西中学が大会前の予想通りの強さを見せた順当な大会であった。

〈55年度兵庫県中学選手権大会結果〉



秋空へキックオフ!

第2回神戸兵庫ライオンズ杯

第2回神戸兵庫ライオンズ杯争奪少年大会は9月7日より始まった。兵庫少年大会への市予選トーナメントに神戸兵庫ライオンズクラブ（会長境一彦氏）からカップの寄贈をうけ昨年から新たに設けられた大会だが、大きなカップがチビッ子達にうけて大会の人氣は抜群。

今年は1部（男子小6以下）に26チーム、2部（男子小4以下）に16チーム、3部に11チームが参加し、それぞれ県大会めざしてハッスルしている。1部は神戸FCを追って成徳、八多、蓮池、箕の谷などの活躍が楽しみ。2部は神戸FC、多井畑、東灘、みさきFCが実力紙一重。3部も八多、多井畑がわずかにリードしているが混戦。勝ち抜き戦だけにどんな波乱がおきるか予想はむづかしい。

決勝戦は10月10日（祝）、御崎少年サッカー場で行なわれる予定。

第3回中学生公認審判員（合格者氏名）

クラブ名	公認審判員名
本庄中学	辻裕朗、浜田武夫
御影中学	小綱尚孝、藤原勲
鷹匠中学	遠山薫司、渡辺信、沼田賢一
上野中学	三浦史朗、近久啓太
須佐野中学	大村文彦、小西勇治
太田中学	山路博司、原田広二
高倉中学	山間直人、草柳勇司
友が丘中学	蒲池進吾、河野竜志
竜が台中	古澤久史、小原秀一
塩屋中学	永島一雄、竹中俊介
丸山中学	新倉、飯田
歌敷山中学	中島、山本、野沢
鈴蘭台中学	松高修一、松原亘
有馬中学	門田好寛、竹内正信
玉津中学	中村圭一、保勝也、村上禎彦
渡川中学	田中敦、歌崎憲一
山田中学	安斉英晃、山本博明
灘中学	福井俊彦、兼高武仁
神大附中学	井上桂一、野口
六甲中学	大菅純一、松下治正
本山中	大島、永井
神戸FC	山中剛一、明珍裕三
星和台中学	加藤、久留島